

化を図る。また、農業用ロボットや自動操縦機能付きトラクターなどの導入な

ど、スマート農業やデジタル技術の活用に取り組む。

大学生・高校生の就職支援

若者の不安を軽減し、
県内就職を積極的に支援する

質問：新型コロナウイルス感染症拡大により景気が悪化し、雇用情勢が厳しくなることが予想される。県においては若者の県内就職を支援し、県内企業の人材確保に向けた取り組みを進める必要がある。大学生の県内就職支援
及び高校生の就職支援につ

いてどう取り組むのか。

答：（知事）コロナの影響により採用活動が停滞気味になる中、県としては学生の不安の軽減や県内企業との出会いの場を増やし若者の県内就職を積極的に支援したい。インターネットを活用した就職説明会の開催や学生に対する助言、小規模な就職説明会の開催などに

取り組むためのICT環境を整備したい。

（教育長）高校生の就職は、コロナの影響で見通しづらい状況にあるが、教育委員会としては関係機関と緊密に連携して情報収集に努め、高校生の就職活動が円滑に行われるよう取り組んで行く。



公立学校におけるICT環境の整備

今年度中の児童生徒一人一台の整備を支援

質問：学校におけるICT環境の整備は、情報活用能力育成だけでなく、感染症の拡大など非常時の臨時休校への対応のためにも早急な整備が必要だ。県内の公立学校におけるICT環境の整備について、今後どのように取り組んでいくのか。

答：（教育長）県立高校等に

おいては、3クラスに1クラスの割合での端末整備を、国の目標を前倒しして整備するほか、ウェブカメラや電子黒板、貸出用モバイルルーターなどの整備を進めていく。

公立小中学校では各市町において「GIGAスクール構想」に合わせ、今年度中の一人一台端末の整備が進め

橋梁の老朽化対策について

機能性や利便性の確保

工事費の遵守に意を用いて設計する

質問：県管理の道路橋1476橋のうち、約4割が建設後50年を超過し、20年後には約8割を占める見込みである。近い将来、修繕や更新の時期が集中し、費用の飛躍的な増大が予想される。県管理橋梁の老朽化対策の現状と今後の取り組み

について聞く。

答：（知事）県管理橋梁は平成26年から5年に1回の頻度で近接目視点検を実施し一巡した。これをもとに県の「橋梁長寿命化修繕計画」を見直すとともに2回目の点検に着手している。

県管理橋梁の内、概ね5

られているほか、GIGAスクールサポーターの配置や家庭へのモバイルルーター等の貸出が検討されている。

県教委としては、これまで以上にICTを活用した教育の充実を図るため、各市町に対して研修や助言、情報提供などの支援を行うなど、すべての学校におけるICT環境の整備に一層取り組んで行く。



年以内に補修等が必用なものが184橋あり、内112橋で事業に着手し31橋で工事が完了している。今年度は未着工の内31橋に着手する。今後とも、劣化状況を把握し、長寿命化対策に積極的に取り組んでいきたい。